

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人 元気力向上委員会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

認知症予防ネットワークづくりの推進事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

都内には約29万人の認知症高齢者がいると推定されます。(東京都認知症高齢者自立度分布調査)今後益々増加すると予測される認知症高齢者の抑制のために、認知症予防教室開催と広く市民に認知症に関する講演会・当団体の活動事例発表会を開催致します。又、認知症予防教室運営に欠かせないサポーターの育成のため、サポーター募集と研修会を開催致します。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- 認知症予防教室の開催「やさしい計算と音読と体操6カ月間及び体験学習の開催
- 認知症に関する講演会及び当団体の活動事例発表会
- 教室運営に不可欠なサポーターの募集及び研修会の開催
- 認知症予防教室のための教材の開発

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

○認知症予防教室の実施にあたり、参加高齢者の住所、年齢なども考慮して、学習者の方たちがお互いに早く親しめるよう、また会場までの行き帰りを、少しでも一緒に行動して、お互い助け合って教室開催中、安全に皆勤で通っていただけるように、学習時の組み合わせを決めました。その結果皆さん親しく会話されるのが早い時期に見られましたし、一緒にバスなどにも乗って通われていました。終了後も時々会ってお茶を飲みながら会話していますと、嬉しいご連絡もありました。○教室終了後の行く先として、○自主グループの立ち上げに繋がり、学習以外に、ふまねつと運動や講師をまねいて講話やペン習字などを組み合わせた内容にしています。現在牟礼地域に2か所あります。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

○認知症予防教室の参加学習者は一人暮らしの方、高齢者二人暮らしの方が多く年齢も50%は80代の方です。80代になりますと、今まで外で趣味の活動などされていた方も、なかなか外に出なくなります。この教室は難しいことをするのではなく、小学1年生程度の足し算・引き算、漢字にはふりがなをつけた楽しい内容教材の音読などをして、脳を活性化します。この楽(学)習は高齢者(学習者)にとっても楽しく新鮮な体験です。それは楽習を支える学習サポーターの存在が不可欠です。学習サポーターをもっと養成し、地域のいろいろな場所で教室を(体験教室・自主グループも含め)開催できるようにと本事業を実施し益々思いました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

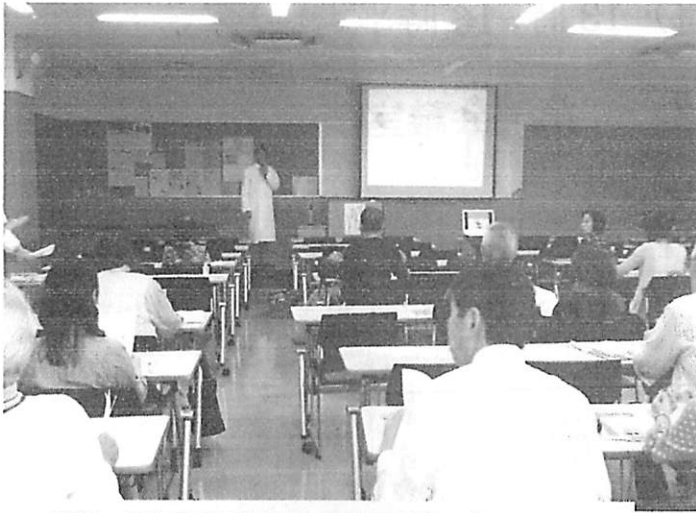
参考資料あり・特になし

認知症に関する講演会

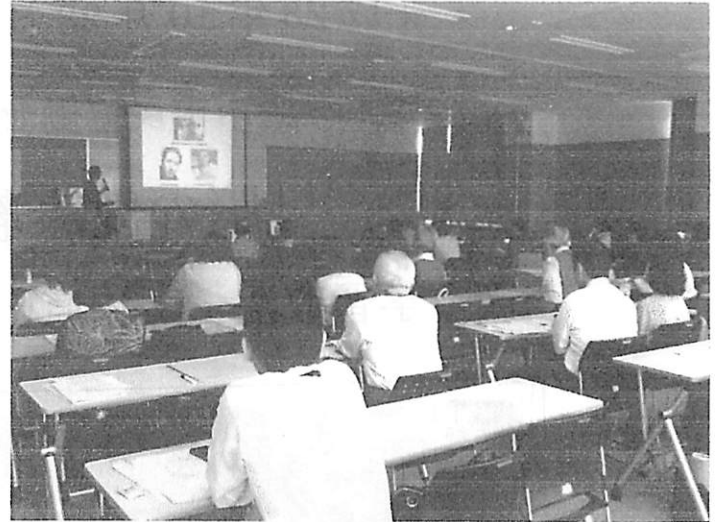
平成 24 年 10 月 23 日 (日) 13:00~17:00

於：三鷹市市民協働センター第1会議室

マラレー



講師 板谷篤泰氏「咀嚼健康法」



講師 石村 巽氏「認知症家族支援の会」



講師 日向 隆美子氏「ハーブのセラピー効果」



ティータイム (ハーブティーのサービス)



脳健康教室
学習者として参加した感想



脳健康教室
学習サポーターをやってみての感想